

## 予算・決算委員会（平成27年度決算審査）

こじばの教室の追加開設に向けて  
辻 弘之

「言語障がい教育」を中心とした役割を持つ「こじばの教室」において、現在の人員配置では保護者などへの相談支援に十分に対応できていません。また、小学生は通っている学校の授業を抜けて、幌別小学校まで移動しなければなりません。これらの負担感が大きくなっています。

平成30年度を目標に、鶯別小学校にも教室を追加開設できるよう、北海道に教員配置を要請していく意向が示されました。

国保税収納率改善、  
防犯灯事業継続を  
千田 文孝

国民健康保険税の収納率が全道34市中32位の実情とその改善の取り組み、一般会計からの繰り入れルールの確認、特定健康診査以外の保険事業や各種健康診査、予防接種などのさらなる改善を要望しました。

防犯灯のLED化事業は6年間の時限事業で、終了時には普及率52・1%となります。温暖化防止や電気料金軽減、防犯対策の市民負担の公平性などを考慮すると、事業の継続を検討すべきと提案しました。

新登別大橋展望台・  
駐車場周辺の整備を  
渡辺 勉

観光施設維持管理経費について、新登別大橋は、登別温泉と札内地区を経て、幌別地区へと結ぶ重要な幹線である。大橋からの北海道らしい眺めは、登別が誇る景勝地でもある。しかし、周辺は荒れ放題でトイレは故障中であることから、周辺整備を北海道へ強く要望していただきたい。

以前からの要望が実り、来年度一部ではあるが草刈りなどを行う旨の連絡を北海道からいただいた。

文化財保護経費について  
佐々木 久美子

文化財を紹介する看板の数は。

登別温泉地区が3カ所、登別地区が6カ所、幌別地区が7カ所、鶯別地区が3カ所となっている。

市内に文化財を紹介する看板が19カ所というのだが、劣化などにより文字が見えにくいものはないのか。

老朽化が進んだ看板もあることから、修繕の必要性を判断し、既設看板の修繕を行っていく。本市の歴史を知り、触れる機会としていただきたい。

本市の除雪体制について  
小栗 義朗

本市における除雪体制について質問しました。業者数や除雪機械の台数については大きな変動はないものの、今は後には運転手不足や機械の老朽化などにより、業者数の減少が考えられるとの回答がありました。

運転手の確保について、以前除雪作業に従事し、現在は現役を引退された方の中に、「除雪作業のお手伝いをしたい」との声もあることから、検討していただきたいと要望しました。

給食費の収納対策について  
村井 寿行

学校給食事業特別会計について、平成27年度給食費の収納率は現年分が98・83%で対前年度比0・38ポイント増加しました。滞納繰越分も28・73%で対前年度比0・9ポイントの増加となりました。

私は、毎年増え続ける滞納繰越分とともに、現年分未納額についても初期からの収納対応の取り組みが重要であると考えます。未納となる原因を把握し、早期解決に向けた収納対策の強化を要望しました。

スポーツ選手を取り巻く  
環境の充実を！  
宮武 祥子

複数の項目について質問した中で、特に注目したのは、「児童生徒スポーツ振興助成金」についてでした。この制度はスポーツ選手育成を目的に、全道・全国大会出場に向け、活動費の一部を負担する制度です。

今後もスポーツ選手の育成・強化に向け、さらなる内容や環境の充実化と、制度を広く普及させて、多くの子どもたちがスポーツに取り組みやすい環境づくりを行うよう要望しました。

年々増加傾向のある決算  
工藤 俱二雄

スキー場事業費全般、北海道日本八木ファイターズ応援大使事業費、防災対策強化事業費、地域生活支援事業費、リサイクル・啓発経費、再生可能エネルギー普及促進事業費、プレミアム商品券発行事業費、公園維持管理経費、図書館運営管理経費など、幅広く追及しました。

また、歳出の決算額が約200億円にも上ることから、各事業が適正に運営されているか、成果や対応策も併せて質問しました。